

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40		-	2.9
1 音環境						3.4	0.15	2.8	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						4.2	0.40	2.5	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		遮音性能TLD50				5.0	0.60	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	1.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.4	0.35	2.4	1.00	2.4
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						2.7	0.25	3.3	1.00	2.9
3.1 昼光利用						3.0	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		待合室2.5%以上、診察室0%、病室部1.25%以上				3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		診察室:窓なし、待合室:庇、病室部:カーテン+庇				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装材はすべてF☆☆☆☆				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視							-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.6	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性							-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30	4.5	0.40	
1 広さ感・景観		病室:CH=2.52m					-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画		木調の内装が落ち着きのある空間として病室やデイルームを計画				5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニルシート(20年) 壁:クロス貼(20年) 天井:ボード類(30年)				5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水塩ビライニング鋼管:B、汚水雑排水VP:B、給湯SUS:C、2種以上にBを使用Eの使用無し				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.8m	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(共用)壁長さ比率0.29、(病室)壁長さ比率0.21	4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.84	<b>4.6</b>	0.20	-	-	<b>4.6</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm非住宅 0.81	<b>2.9</b>	0.50	-	-	<b>2.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		大便器・小便器は節水型機器、水栓は自動水栓を採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.8</b>	0.60	-	-	<b>2.8</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		GL工法(断熱材はウレタン吹付)、OAフロアを採用	5.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2低減率15%	<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.5</b>	0.33	-	-	<b>2.5</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	